

# 松田 光一郎

准教授

研 究 業 績

2024年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（単）	『ABC分析から始める重度知的障害者の就労支援—援助者のための研究事例集—』コプレス、全278頁	2020. 6
著書（単）	『援助者のための支援ガイド「発達障がい者編」』コプレス、全136頁	2019. 6
著書（単）	『援助者のためのABAワークブック「おとなが変われば子どもが変わる」』三恵社、全48頁	2018. 12
著書（単）	『知的障害者の雇用継続に向けた実践モデルの構築 だれもが「働きがい」を感じる環境をめざして』コプレス、全220頁	2016. 6
著書（共）	「就労を希望する自閉症者の職場定着に向けたセルフ・マネジメントの形成—雇用を前提とした実習支援を通して」『21の実践から学ぶ臨床発達心理学の実践研究ハンドブック』第2部（思春期・青年期・成人期分野における臨床発達心理士の実践）臨床発達心理士認定運営機構日本臨床発達心理士会（編）、金子書房、186-194頁	2010. 8
論文（単）	「知的障害者の職場定着における応用行動分析の視点に基づいたアプローチ」『人間福祉学会誌』第23巻第2号、1-8頁	2024. 3
論文（単）	「知的障害を伴う自閉症者の一般就労に向けた就労アセスメントの検討—応用行動分析を用いた職場定着支援を事例に—」関西社会福祉学会『関西社会福祉研究』第10号、29-37頁	2024. 3
論文（単）	「Facilitated Communicationによって引き起こされる現象について—行動分析学の立場から—」『花園大学文学部研究紀要』第56号、59-67頁	2024. 3
論文（単）	「ICFの視点を活用した課題および支援方針に関する検討—双極性障害を伴う軽度知的障害者の職場体験実習を事例に—」『花園大学社会福祉学部研究紀要』第32号、15-21頁	2024. 3
論文（単）	「知的障害者の雇用と職場定着に関する研究の動向から応用行動分析の導入について検討する」花園大学社会福祉学会『福祉と人間科学』第34号、73-81頁	2024. 3

論文（単）	「戦後から現在に至る京都東九条地域のスラム対策と市街地整備に関する考察」花園大学人権教育研究センター『人権教育研究』第32号、21-31頁	2024. 3
論文（単）	「改定案「就労選択支援」の導入における就労アセスメントに関する一考察—知的障害を伴う自閉症者の職場定着支援を事例に—」広島文教大学人間福祉学会『人間福祉研究』第22号、2-11頁	2024. 3
論文（単）	「知的障害者の就労定着および就労継続において重要視される条件に関する検討—雇用主と支援者の視点から—」『人間福祉学会誌』第22巻第2号、1-7頁	2023. 3
論文（単）	「知的障害者の就労支援における方法論に関する検討—訪問型職場適応援助者（ジョブコーチ）の実践から—」『花園大学社会福祉学部研究紀要』第31号、57-66頁	2023. 3
論文（単）	「重度障害者の自己決定とコミュニケーションに関する考察」花園大学社会福祉学会『福祉と人間科学』第33号、47-53頁	2023. 3
論文（単）	「知的障害者の援助付き雇用における支援のあり方について—PCPに基づいた実践モデルに関する提案—」『人間福祉学会誌』第21巻第2号、1-7頁	2022. 3
論文（単）	「当事者中心の個別支援計画に基づいた支援の効果に関する検討—行動問題を呈する自閉スペクトラム症者の職場実習を事例に—」『花園大学社会福祉学部研究紀要』第30号、35-44頁	2022. 3
論文（単）	「知的障害者が継続して社会で働き続けるための支援に関する論考—組織間における情報移行の観点から—」花園大学社会福祉学会『福祉と人間科学』第32号、3-11頁	2022. 3
論文（共）	「ネット・ゲーム依存者とその家族および関係者への「正しい知識の普及」と回復支援に関するアクションリサーチ」京都文教大学地域協働研究センター紀要『地域協働研究ジャーナル』第1号、（松田美枝、白水宗一、鶴身孝介、 <u>松田光一郎</u> 、二本柳覚）、51-61頁	2022. 3
論文（共）	「保幼小と連携した読書活動の推進—豊かな心と確かな学力の育成のために—」京都文教大学地域協働研究センター紀要『地域協働研究ジャーナル』第1号、（橋本京子、植山俊宏、岡本浄美、島田香、 <u>松田光一郎</u> 、二本柳覚、尾崎万佐子）、73-83頁	2022. 3
論文（単）	「重度知的障害者への補助・代替コミュニケーション指導—サイン言語の自発使用に関する事例から—」『京都文教大学臨床心理学部研究報告』第13集、67-76頁	2021. 3

論文（単）	「自閉スペクトラム症児に対する支援ツールを用いた適切なコミュニケーション行動の形成—放課後等デイサービスにおける取り組みを事例に—」『人間福祉学会誌』第 20 巻第 2 号、49-57 頁	2021. 3
論文（単）	「問題行動を呈する自閉スペクトラム症児に対する適切なコミュニケーション行動の形成—チェックリストと文字カードを用いたコミュニケーション・トレーニングを事例に—」『京都文教大学心理社会的支援研究』第 11 集、93-105 頁	2020. 9
論文（単）	「特別支援学校高等部における職場実習支援に関する—考察—セルフ・マネジメント・スキルの形成を目指して—」『中部学院大学・中部学院短期大学部研究紀要』第 20 号、1-8 頁	2020. 3
論文（単）	「行動問題を呈する生徒の FBA と BIP に基づくアプローチの検討—施設体験実習における実践を通して—」関西社会福祉学会『関西社会福祉研究』第 5 号、69-77 頁	2019. 3
論文（単）	「自閉症を伴う知的障害者の職場定着に向けた環境整備に関する—考察—株式会社 T の雇用前実習を事例に—」『人間福祉学会誌』第 19 巻第 2 号、1-8 頁	2019. 2
論文（単）	「自閉症のある特別支援学校生徒の施設体験実習における問題行動へのアプローチ」『自閉症スペクトラム研究』第 16 巻第 2 号、25-32 頁	2019. 2
論文（単）	「ジョブコーチからの支援による同僚や上司の知的障害者雇用に対する意識の変容プロセス」『中部学院大学・中部学院短期大学部研究紀要』第 19 号、87-94 頁	2018. 3
論文（単）	「自閉スペクトラム症児に対する早期集中行動介入（EIBI）の効果と課題—家庭における親指導の事例をもとに—」『人間福祉学会誌』第 12 巻第 2 号、23-29 頁	2017. 12
論文（単）	「A 大学における学生支援の現状と課題—学生支援センターの取り組みを通して—」『人間福祉学会誌』第 16 巻第 2 号、43-47 頁	2017. 3
論文（単）	「障害者雇用の継続を阻害する要因に関する質的研究—自閉症者を雇用する A 事業所社員の意識調査から—」『自閉症スペクトラム研究』第 14 巻第 2 号、15-21 頁	2017. 2
論文（単）	「障害者雇用の継続を阻害する要因に関する質的研究—知的障害者を雇用する A 社の意識調査から—」『人間福祉学会誌』第 15 巻第 2 号、9-15 頁	2016. 3
論文（単）	博士学位論文「知的障害者の一般就労に関する研究—雇用の継続を目指した支援のあり方について—」中部学院大学大学院人間福祉学研究科	2016. 3

論文（単）	「ICF を用いた「本人中心」の個別支援計画作成に関する検討—市役所における職場実習を通して— 関西社会福祉学会『関西社会福祉研究』第1号、103-109頁	2015. 3
論文（単）	「自閉症者の継続雇用を可能にする要因に関する研究—関西圏にあるT社を事例に—」『自閉症スペクトラム研究』第12巻第1号、65-72頁	2014. 11
論文（共）	「障害者中心の個別支援計画作成に関する検討—市役所における職場実習を通して—」『人間福祉学会誌』第14巻第1号、（松田光一郎、堅田明義）、31-37頁	2014. 11
論文（単）	「アスペルガー障害をもつ成人の就労相談からみた現状と課題—A県発達障害者支援センターの事例を通じて—」日本社会福祉士会研究誌『社会福祉士』第21号、41-48頁	2014. 3
論文（共）	「重度知的障害者におけるサインランゲージの自発使用に関する検討」『人間福祉学会誌』第13巻第1号、（松田光一郎、福地潮人、堅田明義）、43-48頁	2013. 11
論文（単）	「精神障害者地域生活支援センターにおける相談機能に関する—考察—グループ・アプローチを用いたプログラムを事例に—」関西学院大学人間福祉学部研究会『人間福祉学研究』第6巻第1号、91-103頁	2013. 11
論文（共）	「行動障害を示す自閉症者への職場実習支援—パーソン・センタード・プランニングに基づいた実践事例から—」『中部学院大学・中部学院大学短期大学部研究紀要』第14号、（松田光一郎、福地潮人）、13-19頁	2013. 3
論文（単）	「A県発達障害者支援センターにおける現状と課題—成人期就労相談を事例に—」『京都ノートルダム女子大学研究紀要』第43号、53-63頁	2013. 3
論文（単）	「行動障害を呈する自閉症者への機能的アセスメントに基づいたコミュニケーション・スキルの獲得」『臨床発達心理実践研究』第7巻、153-161頁	2012. 7
論文（共）	「自閉症者の作業自律を目指した就労準備トレーニングにおける実践—作業チェック表を用いたジョブコーチ支援の事例から—」『自閉症スペクトラム研究』第9巻別冊第2集、（松田光一郎、園山繁樹）、55-61頁	2012. 3
論文（単）	「精神障害者地域生活支援センターの現状と役割に関する研究—グループ・アプローチによる取組を通して—」『京都ノートルダム女子大学研究紀要』第42号、145-157頁	2012. 3
論文（単）	「地域生活支援センターの相談機能に関する—考察—面談記録におけるニーズ調査を通して—」日本社会福祉士会研究誌	2011. 2

	『社会福祉士』第18号、43-47頁	
論文（単）	「行動障害を示す自閉症者へのPECSによるコミュニケーション・スキルの獲得」『自閉症スペクトラム研究』第8巻第1号、67-103頁	2010. 8
論文（単）	「就労を希望する自閉症者の職場定着に向けたセルフ・マネジメントの形成—雇用を前提とした実習支援を通して」『臨床発達心理実践研究』第4号、171-179頁	2009. 7
論文（共）	「メモリーノートを活用した体験実習におけるセルフ・マネジメントの効果と維持」『立命館大学人間科学研究』第18号、（松田光一郎、望月昭）、46-62頁	2009. 2
論文（単）	「雇用を前提とした職場実習における確認行動の形成」京都国際社会福祉センター紀要『発達・療育研究』第24号、55-62頁	2008. 11
論文（共）	「行動障害を呈する自閉症者への積極的行動支援—機能的アセスメントに基づくコミュニケーション行動の改善—」『立命館大学人間科学研究』第17号、（松田光一郎、望月昭）、117-129頁	2008. 8
論文（共）	「総合支援学校高等部生徒の職場体験実習における機能分析とセルフ・マネジメント行動の獲得に向けて」『立命館大学人間科学研究』第17号、（太田隆士、稲生ゆみ子、松田光一郎、望月昭）、107-115頁	2008. 8
論文（単）	「総合支援学校生の体験実習におけるセルフ・マネジメントの形成—メモリーノートを用いた支援の試み—」京都国際社会福祉センター紀要『発達・療育研究』第23号、3-17頁	2007. 11
論文（単）	修士学位論文「養護学校生の就労体験学習におけるセルフ・マネジメント・スキルの形成—メモリーノートとその活用に向けた指導・支援の試み—」立命館大学大学院応用人間科学研究科	2007. 3
報告・調査（単）	「自閉ペクトラム症者の雇用継続を可能にするための支援に関する研究」『2020年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（課題番号20K13745）研究成果報告書』文部科学省研究振興局独立法人日本学術振興会	2023. 4
報告・調査（共）	「障がい当事者の多様な個性や才能を活用した教育とまちづくりに関わる実践的研究」『2020年度地域志向教育研究（ともいき研究助成事業）研究成果報告書』（松田光一郎、馬場雄司、吉村夕里、千葉晃央）、京都文教大学地域協働研究教育センター	2021. 3
報告・調査	「ネット・ゲーム依存者とその家族の心理教育と回復支援に	2021. 3

(共)	関するアクションリサーチ」『2020 年度地域志向教育研究（ともいき研究助成事業）研究成果報告書』（松田美枝、白水宗一、鶴身孝介、 <u>松田光一郎</u> 、二本柳覚）、京都文教大学地域協働研究教育センター	
報告・調査 (共)	「保幼小と連携した読書活動の推進-認知能力・非認知能力の育成のために-（第1年次報告）」『2020 年度地域志向教育研究（ともいき研究）研究成果報告書』（橋本京子、植山俊宏、岡本浄美、島田香、 <u>松田光一郎</u> 、二本柳覚、尾崎万佐子、小長谷佳代子、公文代哲夫、寺島ひとみ、伊藤治子、岸禮子、谷口偉）、京都文教大学地域協働研究教育センター	2021. 3
報告・調査 (共)	「障がい当事者のリソースを活用した教育とまちづくりに関わる発展的研究」『2019 年度地域志向教育研究（ともいき研究助成事業）研究成果報告書』（ <u>松田光一郎</u> 、吉村夕里、馬場雄司）、京都文教大学地域協働研究教育センター	2020. 3
報告・調査 (共)	「自殺予防および精神障がい者のリカバリーと社会貢献に関する探究的研究」『2019 年度地域志向教育研究（ともいき研究助成事業）研究成果報告書』（松田美枝、 <u>松田光一郎</u> 、二本柳覚）、京都文教大学地域協働研究教育センター	2020. 3
報告・調査 (単)	「自閉症者のディーセント・ワークの実現に向けた効果的な就労支援モデルの開発に関する研究」『豊かな高齢社会の探求調査研究報告書』Vol. 23、公益財団法人ユニベール財団	2015. 7
その他（単）	「自閉スペクトラム症者の雇用継続を可能にするための支援に関する研究の経過報告」『地域ケアリング』24 巻、5 号、88-90 頁、北隆館	2022. 5
その他（単）	「自閉スペクトラム症者の雇用継続を可能にするための支援に関する研究の背景と方向性」『地域ケアリング』23 巻、13 号、52-54 頁、北隆館	2021. 11
その他（単）	「就労を希望する知的障害者のジョブサイト・トレーニングにおける実践—作業チェック表を用いたセルフ・マネジメントの形成—」『さぼーと』629 号、42-48 頁、日本知的障害者福祉協会	2009. 6
学会発表（単）	「就労移行支援における ICF の有用性に関する検討—自傷を呈する自閉症者の職場体験実習を事例に一」、日本福祉心理学会第 21 回大会（オンライン開催）	2023. 12
学会発表（単）	「本人を中心に据えた計画作成に ICF を用いることの有用性について—一般就労を希望する障害者の職場体験実習の事例から—」、人間福祉学会第 23 回研究発表大会（於、中部学院大学各務原キャンパス）	2023. 12

学会発表（単）	「職場適応援助者からの援助が雇用現場に及ぼす影響—自閉スペクトラム症者を雇用する事業所の調査から—」、第31回職業リハビリテーション研究・実践発表会（於、東京ビックサイト会議棟）	2023. 11
学会発表（単）	「双極性障害を伴う知的障害者の実習課題と支援方針に関する検討—ICFの視点を活用した職場体験実習を事例に—」、日本特殊教育学会第61回大会（於、横浜国立大学）	2023. 8
学会発表（単）	「就労困難とされる自閉スペクトラム症者の職場定着支援の実際—就労支援事業所の職場適応援助者の視点から—」、人間福祉学会第22回研究発表大会（於、中部学院大学各務原キャンパス）	2022. 12
学会発表（単）	「当事者中心の個別支援計画に基づいた支援の効果に関する検討—行動問題を呈する自閉症者の職場実習の事例から—」、日本特殊教育学会第60回大会（於、つくば国際会議場）	2022. 9
学会発表（単）	「問題行動を示す自閉スペクトラム症児のコミュニケーション行動への支援—放課後等デイサービスにおける支援を事例に—」、人間福祉学会第21回研究発表大会（於、中部学院大学各務原キャンパス）	2021. 11
学会発表（単）	「問題行動を呈する自閉スペクトラム症児に対する適切なコミュニケーション行動に関する検討」、日本特殊教育学会第58回大会（誌上発表・WEB開催）	2020. 9
学会発表（単）	「知的障害者の職場定着支援に関する取り組み—雇用前実習の効果について—」、人間福祉学会第20回記念大会（於、じゅうろくプラザ）	2019. 11
学会発表（単）	「行動問題を呈する生徒のFBAとBIPに基づくアプローチの検討」、日本特殊教育学会第57回大会（於、広島大学）	2019. 9
学会発表（単）	「問題行動を示す生徒の行動介入計画に基づいたアプローチの効果と課題」、日本特殊教育学会第56回大会（於、大阪国際会議場）	2018. 9
学会発表（単）	「自閉症スペクトラム児に対する早期行動介入の効果の検討」、日本特殊教育学会第55回大会（於、名古屋国際会議場）	2017. 9
学会発表（単）	「障害者雇用を阻害する要因に関する質的研究—知的障害者を雇用するA社の調査を通して—」、日本特殊教育学会第54回大会（於、新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ）	2016. 9
学会発表（単）	「特別支援学校卒業生を雇用する一般企業における実態調査」、人間福祉学会第16回研究発表大会（於、中部学院大学各務原キャンパス）	2015. 10
学会発表（単）	「自閉症者の継続雇用を可能にする要因に関する検討—関西	2014. 9

	圏にある「社を事例に—」、日本特殊教育学会第 52 回大会（於、高知大学）	
学会発表（単）	「当事者中心の個別支援計画作成に関する検討—「市役所における庁舎内職場体験実習を通して—」、日本自閉症スペクトラム学会第 13 回研究大会（於、立命館大学衣笠キャンパス）	2014. 8
学会発表（単）	「特別支援学校生の庁内実習におけるセルフ・マネジメントの形成—作業ノートを活用した支援効果の検討—」、日本職業リハビリテーション学会第 41 回埼玉大会（於、埼玉県立大学）	2013. 8
学会発表（単）	「富山型デイサービスを利用する自閉症児の行動問題に関する事例研究」、日本行動分析学会第 31 回大会（於、岐阜大学）	2013. 7
学会発表（共）	「A 県における発達障害者支援センターの現状と課題—成人期発達障害者の就労相談を通じて—」、日本社会福祉学会第 60 回秋季大会（於、関西学院大学）、共同発表者：松田光一郎、福地潮人	2012. 10
学会発表（単）	「重複障害者における要求表現の形成」、日本行動分析学会第 30 回大会（於、高知城ホール）	2012. 9
学会発表（共）	「当事者を中心に据えたパーソン・センタード・サポートにおける実践—ボトム・アップ でもトップ・ダウンでもない新たな支援を目指して—」、日本自閉症スペクトラム学会第 11 回研究大会（於、筑波大学）、共同発表者：松田光一郎、福地潮人	2012. 8
学会発表（単）	「就労移行支援サポート事業の現状と課題—平成 22 年度の開拓実績から見えてきたこと」、第 19 回職業リハビリテーション研究発表会（於、障害者職業総合センター）	2011. 12
学会発表（単）	「知的障害を伴う自閉症者のセルフ・マネジメントにおける作業チェック表の効果」、日本行動療法学会第 37 回大会（於、飯田橋レインボービル・家の光会館）	2011. 11
学会発表（単）	「自閉症スペクトラム者の職場実習におけるメモリーノートの活用と効果」、日本自閉症スペクトラム学会第 10 回研究大会（於、名古屋国際会議場）	2011. 9
学会発表（単）	「メモリーノートを活用した職場実習における効果の検討—接客スキルの獲得を目指した事例から—」、第 18 回職業リハビリテーション研究発表会（於、障害者職業総合センター）	2010. 11
学会発表（単）	「自閉症者の職場実習におけるセルフ・マネジメント・スキルの獲得—作業チェック表を用いた自律的な作業遂行を目指して—」、日本自閉症スペクトラム学会第 9 回研究大会（於、宇都宮大学）	2010. 9

学会発表（単）	「知的障害者への職場定着におけるメモリーノートの活用と効果」、第 17 回職業リハビリテーション研究発表会（於、障害者職業総合センター）	2009. 12
学会発表（単）	「研修教育の効果測定に関する考察—職員研修の効果測定に関する調査結果から—」、対人援助学会第 1 回大会（於、立命館大学衣笠キャンパス）	2009. 11
学会発表（単）	「行動障害を示す自閉症者に対する適切なコミュニケーション・スキルの形成」、日本自閉症スペクトラム学会第 8 回研究大会（於、福井県立大学）	2009. 9
学会発表（共）	「行動障害を呈する自閉症者への積極的行動支援—機能的アセスメントに基づくコミュニケーション行動の改善—」、日本行動分析学会第 26 回大会（於、横浜国立大学）、共同発表者：松田光一郎、望月昭	2008. 8
学会発表（単）	「養護学校生における接客スキルの形成—メモリーノートを用いた支援の試み—」、日本行動分析学会第 25 回大会（於、立教大学）	2007. 8
学会発表（共）	「学生ジョブコーチシステムという試み（3）仕事遂行メタスキルの獲得」、日本行動分析学会第 24 回大会（於、関西学院大学）、共同発表者：太田隆士、稲生ゆみ子、松田光一郎、望月昭	2006. 9
地域活動・その他	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター研究評価委員	2021. 4～ 2023. 3
地域活動・その他	エイブルパフォーマンス集団「ガラ」 事務局スタッフ	2020. 4～ 2021. 3
地域活動・その他	にじいろプロジェクト「シネマとトークの会」 実行委員	2020. 4～ 2021. 3
地域活動・その他	山城北圏域障害者自立支援協議会就労部会 「放課後ジョブ事業」アドバイザー	2019. 4～ 2021. 3
講師	2023 年度洛陽総合高等学校「放課後特別講座」	2024. 2
講師	宇治市高齢者アカデミー「第 7 期アカデミーアワー」 宇治市健康づくり推進課（京都文教大学）	2019. 4～ 2021. 3
講師	2020 年度伏見連続講座「向島のまちづくり—多様な立場から—」京都文教大学（2021 年 1 月 16 日：オンライン）	2021. 1
講師	2020 年度夏期教員免許更新講習（非対面式）「〈必修〉教育の今日的状況（中等教育）」京都文教大学	2020. 7～ 2020. 9
講師	2020 年度秋期教員免許更新講習（非対面式）「〈必修〉教育の今日的状況（中等教育）」京都文教大学	2020. 11～ 2021. 1

